

# 2025 年 7 月より保険適用 GLP-1（ウゴービ）、 GLP-1/GIP(ゼップバウンド)の取扱い開始予定となりました

これまで肥満症治療薬（ウゴービ/ゼップバウンド）は大学病院を含め少数の施設しか処方を認められていませんでしたが、日本糖尿病学会の認定教育施設Ⅲを取得し、クリニックとしてウゴービ、ゼップバウンドの処方を開始することが可能となりました。

しかし適切な薬剤使用のために様々な制限が厚生労働省よりかけられています。

ここではそれについて説明いたします。

＊当院では医療安全上と倫理的観点から自費診療での GLP-1 (GLP-1/GIP) 投与は行っておりません。

## GLP-1 とは

GLP-1 は小腸から産生されているホルモンで、糖尿病薬として使用されています。血糖値を下げるだけでなく、食欲を抑えて体重を低下させる効果があり、血糖値が正常の状態では血糖値の下がりすぎ（低血糖）がないことから、肥満症治療薬として多く使われるようになっていきます。

## GIP ホルモンとは

GIP ホルモンは脂肪細胞内での脂肪分解を促進し、エネルギー消費量と脂肪消費量を増加させるとされています。GLP-1 と同じく血糖値が正常の状態では血糖値の下がりすぎ（低血糖）はありません。

## 肥満症とは

身長と体重から BMI という数値を計算し $[\text{体重 kg} \div (\text{身長 m})^2]$ 、 $25\text{kg/m}^2$ 以上が肥満となり、かつ減量を要する健康障害を有する場合は肥満症とされます。

## ウゴービ/ゼップバウンドの保険による適応条件

肥満症 ただし、高血圧、脂質異常症又は 2 型糖尿病のいずれかを有し、かつその疾患に関する内服加療を行っており、食事療法・運動療法を行っても十分な効果が得られず、以下に該当する場合。

①BMIが  $27\text{kg}/\text{m}^2$  以上であり、2 つ以上の肥満に関連する健康障害を有する

カ 耐糖能障害（2 型糖尿病・耐糖能異常など）

キ 脂質異常症

ク 高血圧

ケ 高尿酸血症・痛風

コ 冠動脈疾患

サ 脳梗塞

シ 非アルコール性脂肪性肝疾患

ス 月経異常・不妊

セ 閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群

ソ 運動器疾患

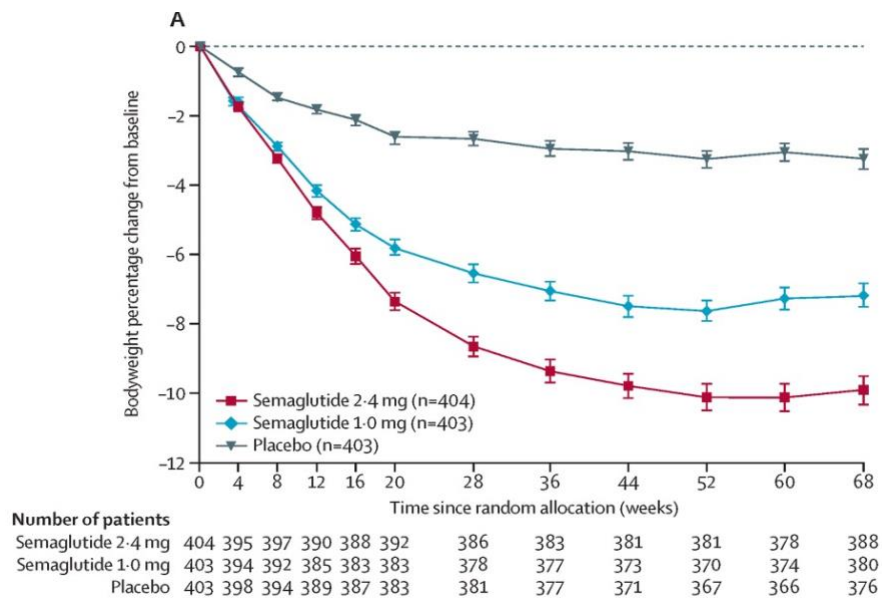
タ 肥満関連腎臓病

②BMI が  $35\text{kg}/\text{m}^2$  以上では高血圧、脂質異常症又は耐糖能障害のいずれかのみで可能

# 予想される体重減少

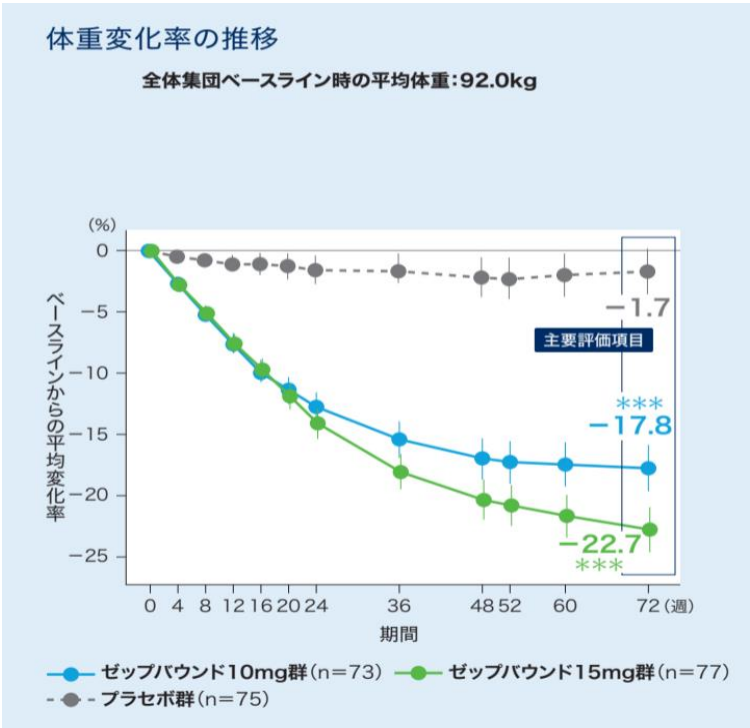
以下のようにウゴービ使用 68 週間で約 10%の体重減少が報告されています。  
相性があり、それ以上に落ちる方も、思ったほど効果がない方もいらっしゃいます。

## ウゴービによる体重減少効果



一方ゼップバウンドの体重の変化については GIP アゴニストの併用により、より大きい体重減少作用を認めます。副作用に関しては両者ほぼ変わりありません。

## ゼップバウンドによる体重減少効果



## 初診時の流れ

初診時にはウゴービ、ゼップバウンドの適応となる状態かどうかを評価いたします。

### 【初診時検査項目】

- ・ 体重測定
- ・ 採血（血糖、脂質、貧血、肝機能、腎機能など）
- ・ 尿検査
- ・ 血圧測定

### 【必要時の精密検査】

- ・ 睡眠時無呼吸症候群精査
- ・ 腹部画像検査
- ・ ブドウ糖負荷試験
- ・ 健康診断データやお薬手帳をお持ちの場合は、お持ちください

検査の結果によって安全に治療ができないと判断した場合には、治療が開始できないこともあります

## 半年の投与前準備期間

ウゴービ/ゼップバウンドの適応の状態であった場合でも、実際に投与を開始できるのは、当院に通院していただいてから半年後からになります。

### 【準備期間の定期項目】

- ・ 定期検査＊原則 1 カ月毎(2 回に 1 回はオンラインも可)
- ・ 栄養士との面談＊2 カ月毎(オンラインも可)

ウゴービ/ゼップバウンドの適応となり、準備期間である 6 ヶ月の間に、先に検査や治療の開始が必要な疾患のコントロールを行っていきます

万が一、診察や栄養士との面談が月内に行えない場合は一旦中止の判断となり、改めて受診してから再度半年の準備期間を要します。

## 投与開始後

ウゴービは用量が 5 段階あり、初めから用量が多いものを使用することはできず、4 週ごとに段階的な増量を行うことになります。そのため最大用量までを使用する場合は、投与開始後約 5 か月を要します。増量することにより副作用が生じる事もありますので、特にウゴービ増量時は毎月の受診と検査による確認を行います。

またゼップバウンドの容量は 6 段階あり、4 週ごとに段階的な増量を行うことになります。そのため最大用量までを使用する場合は、投与開始後約 6 か月を要します。

また投与期間中も、2 カ月毎の栄養士との面談が必須となります。

受診や面談が決められた日程で行えない場合は投与が中止となります。

## 【投与期間の定期項目】

- ・ 定期検査＊原則 1 カ月毎(5 ヶ月経過後は 2 回に 1 回はオンラインも可)
- ・ 栄養士との面談＊2 カ月毎、オンラインも対応

ウゴービの最長の投与期間は 68 週となります。

またゼップバウンドの最長の投与期間は 72 週となります。

再投与が必要と判断された場合も、基本的には再度半年の準備期間を経ていただきます。

## FAQ

### 薬の費用はどの程度かかりますか？

ウゴービの薬代は 3 割負担の場合、1 カ月の 4 回分は、1.0mg が約 7000 円、最大量の 2.4mg が約 13000 円になります。

ゼップバウンドの薬代は 3 割負担の場合、1 カ月の 4 回分は、2.5mg が約 3,700 円、標準容量の 10mg では 10,800 円、最大量の 15mg が約 13,500 円になります。

それ以外に診察料が 3000-5000 円/月がかかります

### 副作用はどんなものがありますか？

下痢、便秘、嘔気・嘔吐、肺炎等が副作用としては出やすい傾向になります。そのため毎月の診察と採血で副作用の出現もフォローいたします。

### 診察の時間はどのくらいかかりますか？

初診時には 1 時間 30 分くらい。再診時は 30-40 分くらいで、栄養指導がある回には 60 分くらいかかります。